

A large, stylized tree logo in shades of blue, positioned on the right side of the page. The tree has a thick trunk and several rounded, leaf-like branches. The background is a gradient of blue with abstract shapes and patterns.

2024年5月期  
**決算説明資料**

2024年7月11日

## ✓ 2024年5月期実績 前期比 減収増益

- **売上高は国内外における販売量減少などにより約173億円減収**  
国内では前期より継続している建設市場の低迷や一般機械分野での需要減少などの影響を受け、販売量が減少。また、国外においても欧州でのEV向け販売量の減少が継続し、前期比で大幅に減収。
- **営業利益は価格改定の効果などにより約11億円増益**  
市場停滞などの影響を受けた販売物量の減少やエネルギー・諸資材価格の上昇影響が継続しているものの、価格改定やコスト削減効果により増益。
- **国際事業は欧州子会社における販売量減少などにより黒字化未達**  
タイ子会社にて前期比で物量が回復しつつあるものの、欧州子会社STEP-GにおけるEV向けの販売量減少が今期も継続したことにより、前期比で減収。
- **震災影響による特別損失の計上などにより当期純損失10億円**  
「令和6年能登半島地震」の影響による建物や設備の修繕費等約20億円を特別損失に計上したことなどにより、前期比で減益。

## 業績結果

(億円)

	12か月累計（2023年6月～2024年5月）						
	2024/5期 実績	2023/5期 実績	前期比		2024/5期 見直計画	見直計画比	
			増減額	%		増減額	%
売上高	<b>3,530</b>	3,703	▲173	▲ 4.7%	3,520	+ 10	+ 0.3%
営業利益	<b>38</b>	26	+ 11	+ 42.6%	35	+ 3	+ 8.8%
営業利益率	<b>1.1%</b>	0.7%	—	+ 0.4p	1.0%	—	+ 0.1p
経常利益	<b>38</b>	34	+ 4	+ 13.5%	30	+ 8	+ 29.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	<b>▲ 10</b>	16	▲26	—	▲ 10	0	—

	3か月累計（2024年3月～2024年5月）			
	2024/5期 4Q3か月実績	2023/5期 4Q3か月実績	前年同期比	
			増減額	%
売上高	<b>885</b>	945	▲59	▲ 6.3%
営業利益	<b>11</b>	15	▲4	▲ 27.9%
営業利益率	<b>1.3%</b>	1.7%	—	▲ 0.4p
経常利益	<b>10</b>	17	▲7	▲ 40.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	<b>▲ 4</b>	10	▲14	—

※金額は億円未満切り捨て表示、率は四捨五入表示

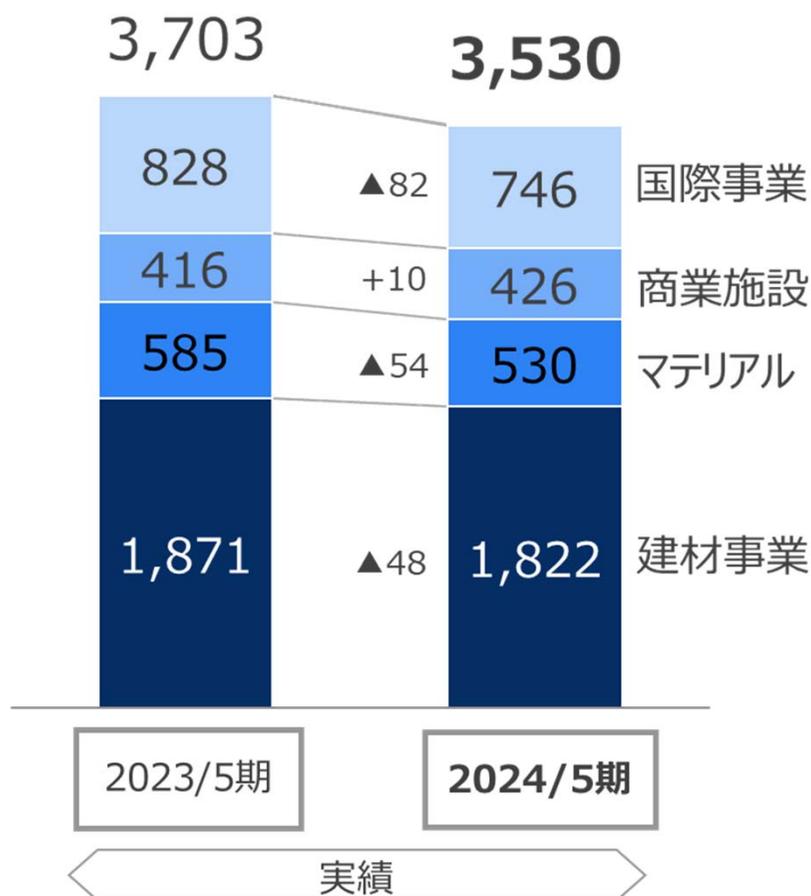
## 配当

**1株当たり 中間配当 10円**  
**期末配当 10円（予定）**

売上高

3,530 億円

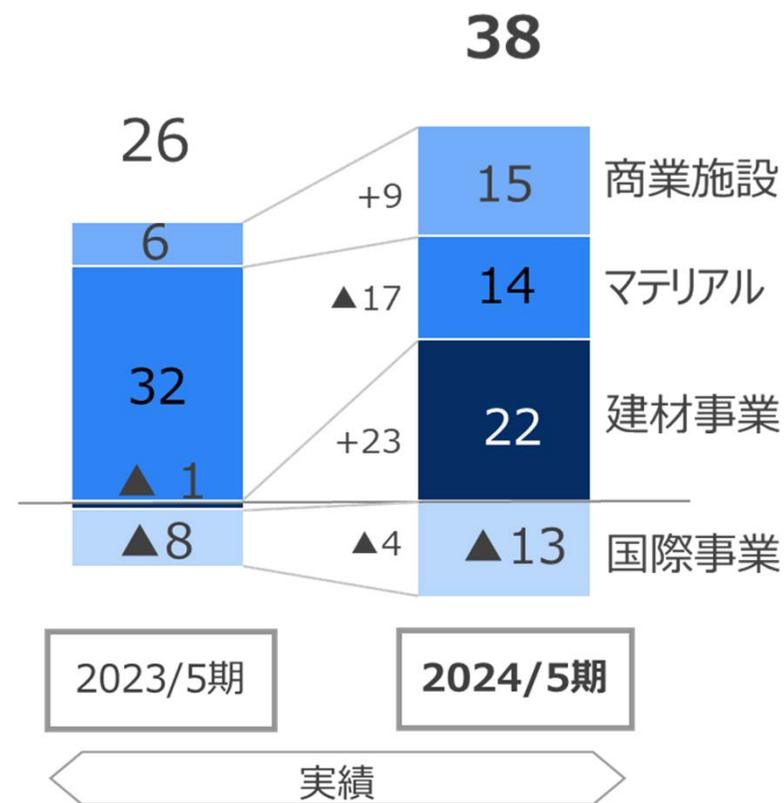
前期比 ▲ 173 億円  
(▲ 4.7%)



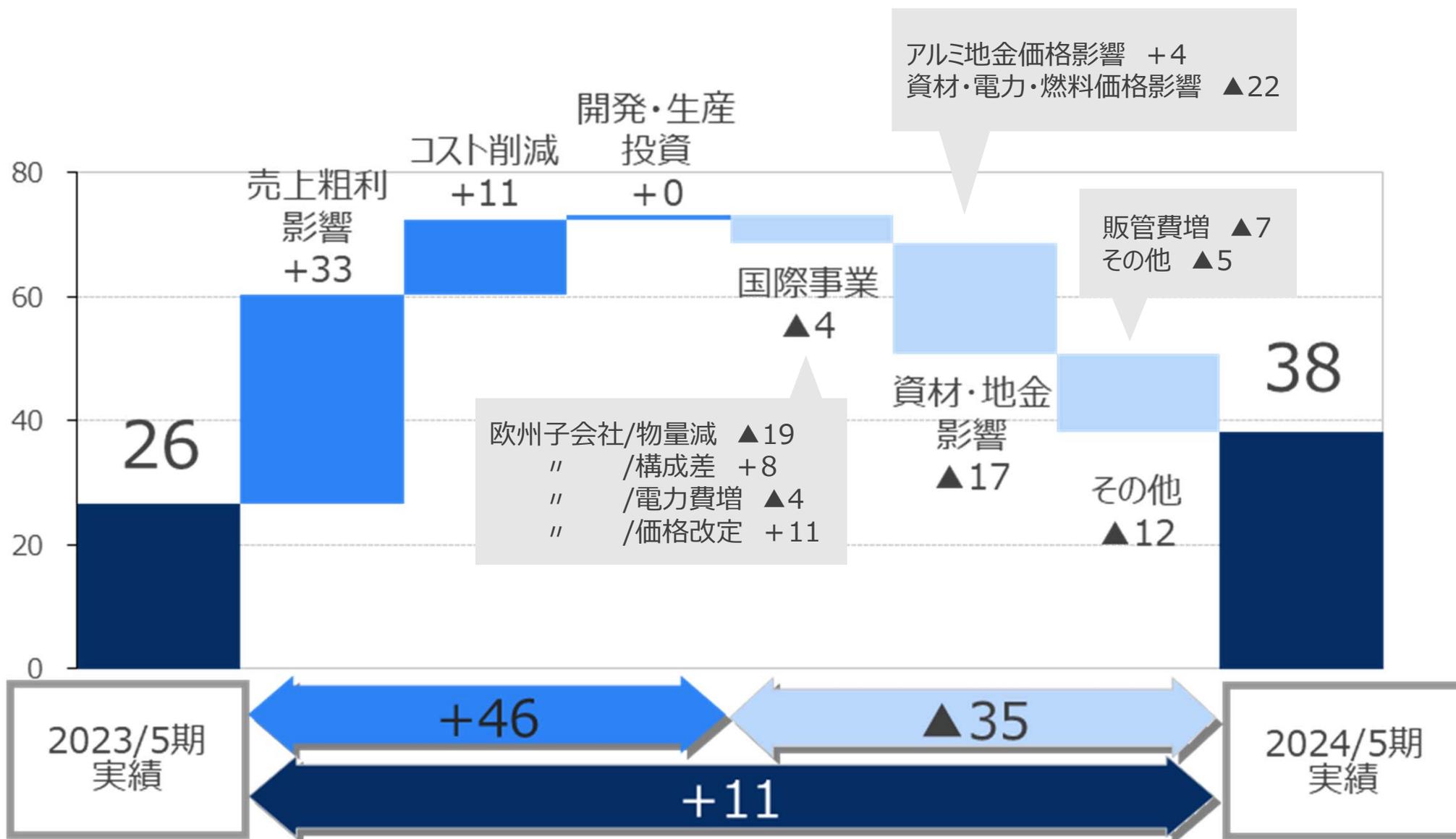
営業利益

38 億円

前期比 + 11 億円  
(+ 42.6%)



※金額は億円未満切り捨て表示、率は四捨五入表示

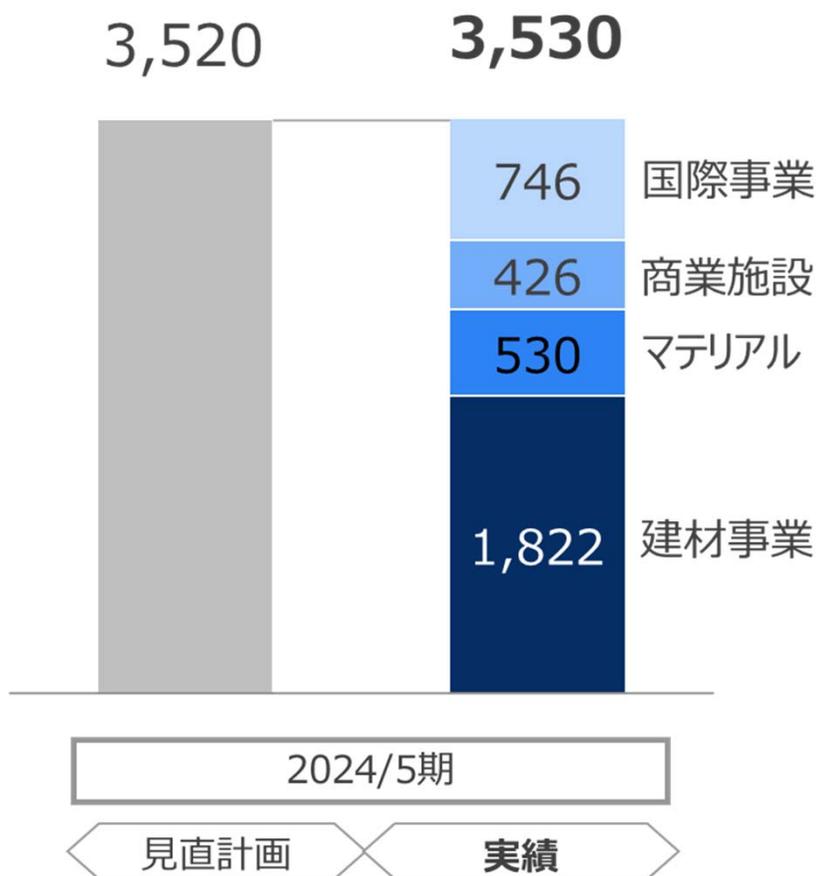


※国際事業に係る利益増減については、「国際事業」に集約  
 ※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

3,530 億円

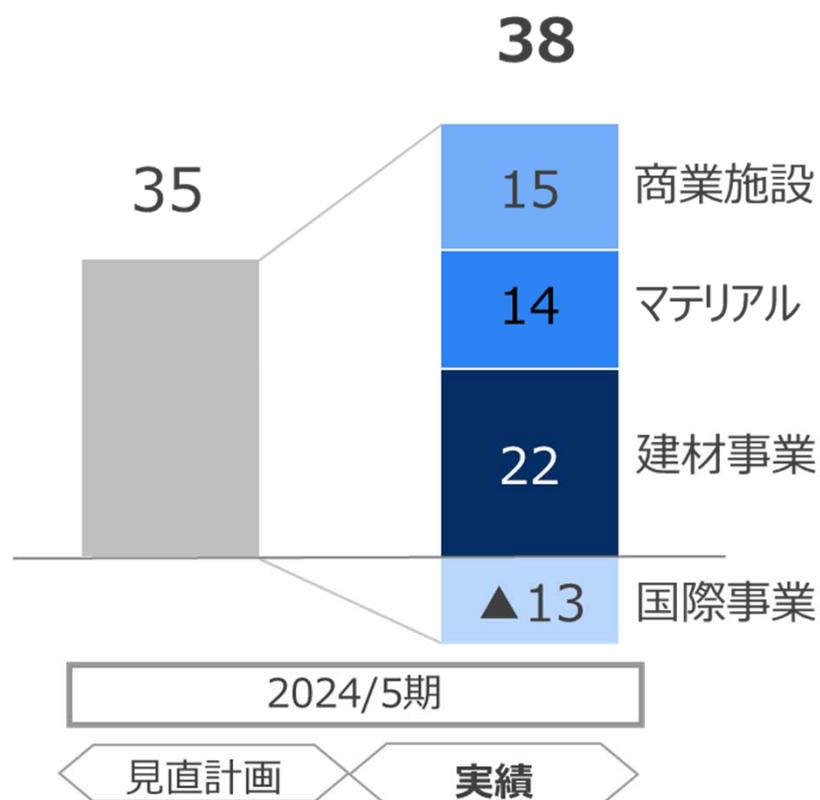
見直計画比 + 10 億円  
(+ 0.3%)



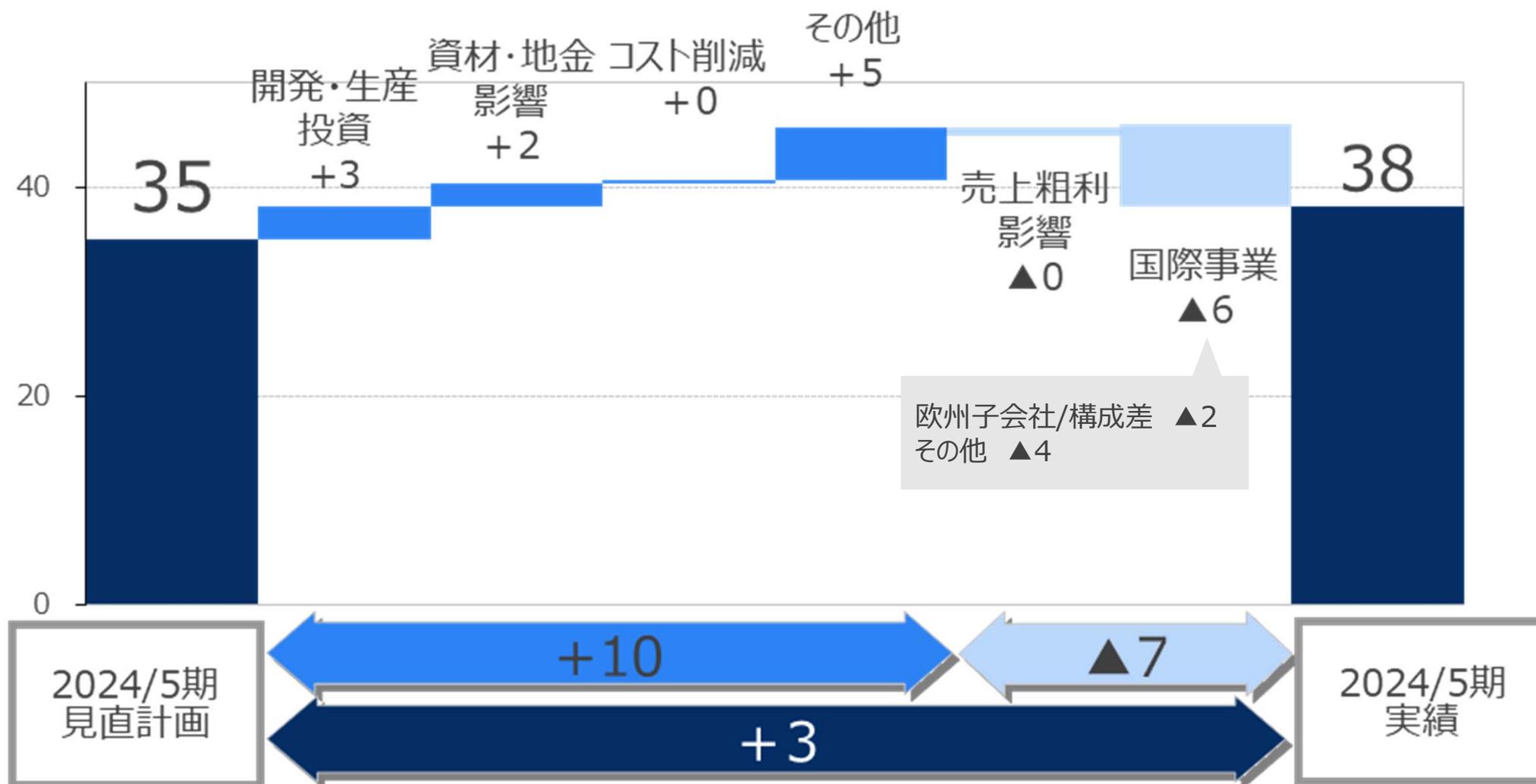
営業利益

38 億円

見直計画比 + 3 億円  
(+ 8.8%)



※金額は億円未満切り捨て表示、率は四捨五入表示



※国際事業に係る利益増減については、「国際事業」に集約  
 ※金額は億円未満切り捨て表示

## ✓ 2025年5月期業績予想について

### ■ 売上高3,600億円、営業利益40億円

売上高においては、建材事業におけるリフォーム商材の取り込みや、マテリアル事業における自動車および一般機械分野の需要回復を見込み、69億円増収の3,600億円を予想。

営業利益については、売上高に連動した物量増を見込む一方、アルミ地金や諸資材価格のさらなる上昇を見込み、前期比並みの40億円を予想。

国際事業は欧州子会社STEP-Gにおける物量増により、営業利益10億円の改善へ。

### ■ 年間配当は1株当たり25円を予想（前期は1株当たり20円を予定）

## 業績予想

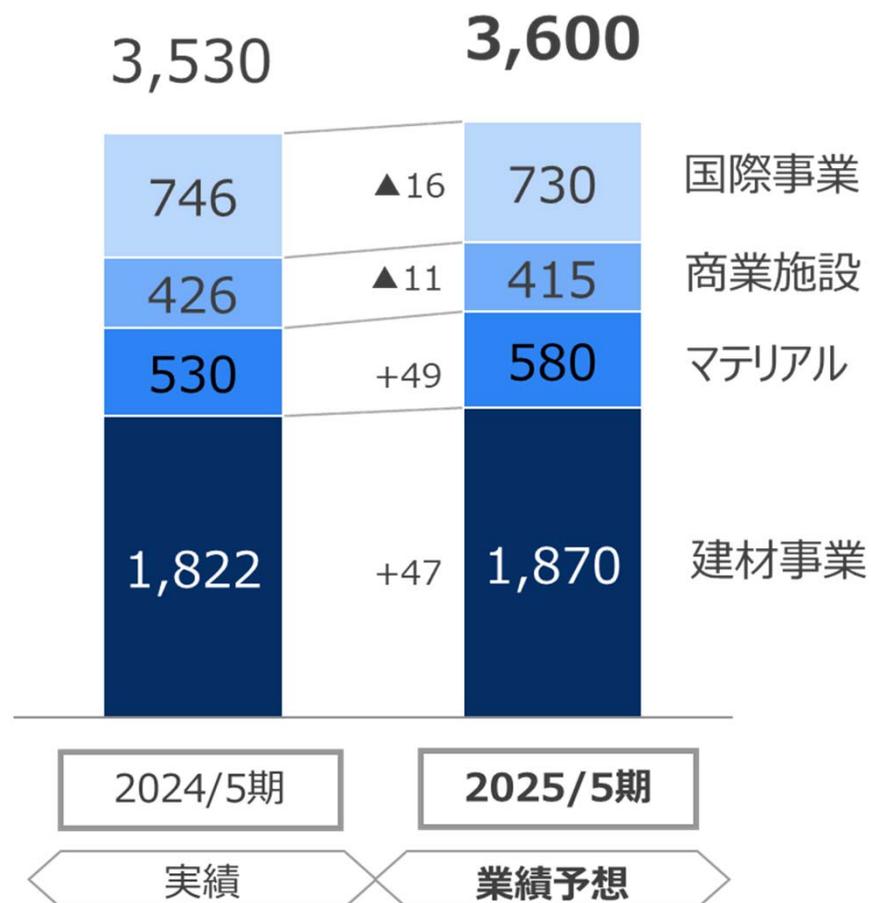
	12ヵ月累計（2024年6月～2025年5月）			
	2025/5期 通期業績予想	2024/5期 実績	増減額	%
売上高	3,600	3,530	+69	+2.0%
営業利益	40	38	+1	+5.1%
営業利益率	1.1%	1.1%	—	—
経常利益	30	38	▲8	▲22.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	15	▲10	+25	—

	6ヵ月累計（2024年6月～2024年11月）			
	2025/5期 2Q業績予想	2024/5期 2Q実績	増減額	%
売上高	1,850	1,813	+36	+2.0%
営業利益	25	24	+0	+0.9%
営業利益率	1.4%	1.4%	—	—
経常利益	20	27	▲7	▲27.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	10	12	▲2	▲22.3%

※金額は億円未満切り捨て表示、率は四捨五入表示

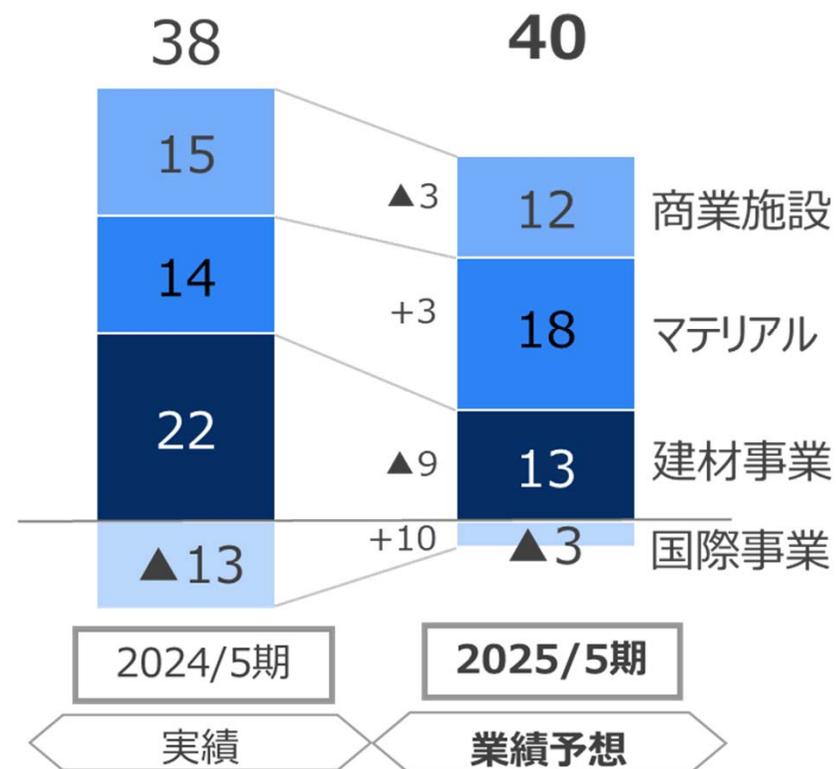
売上高

2025/5期  
業績予想 **3,600 億円**  
前期比 **+ 69 億円**



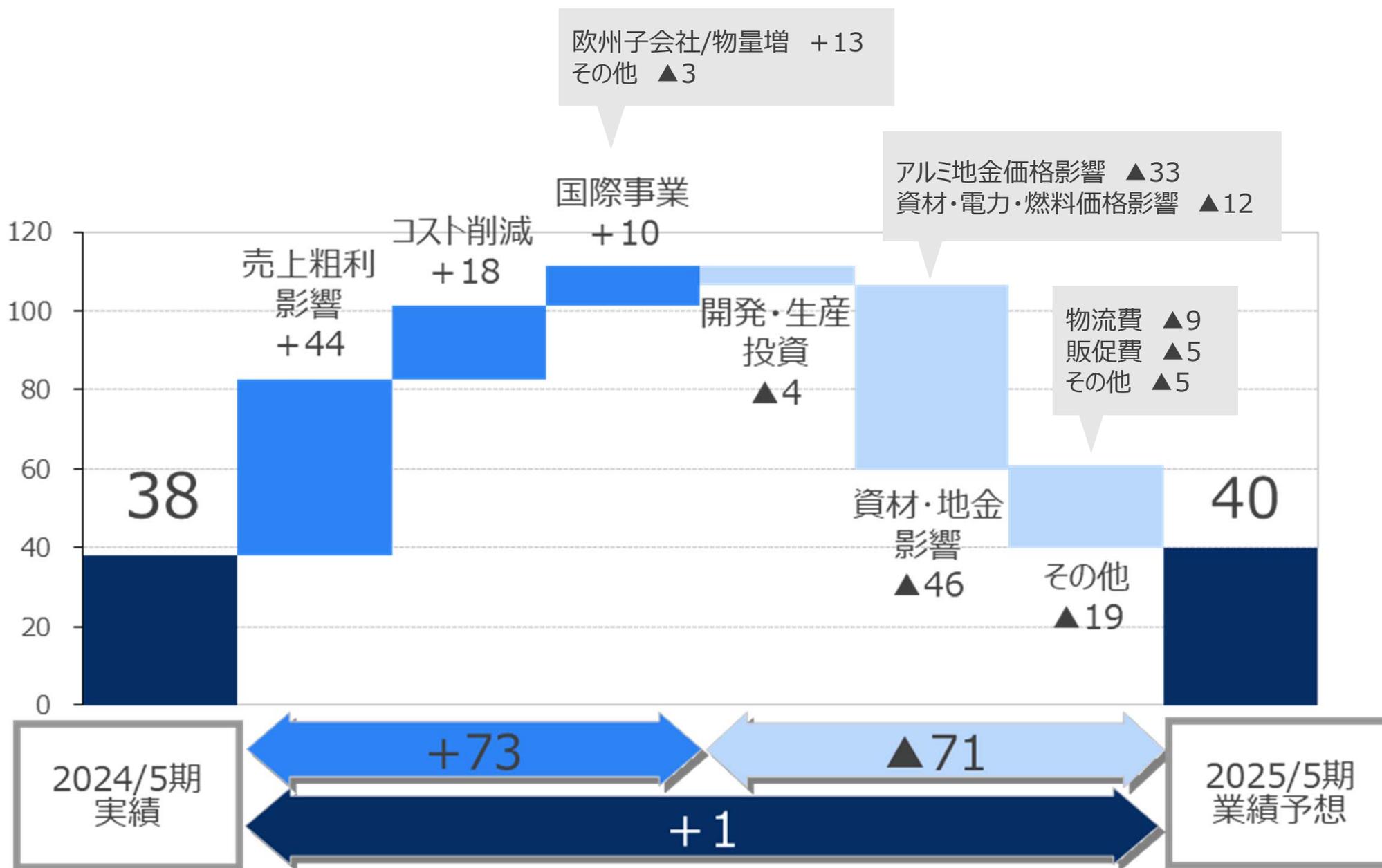
営業利益

2025/5期  
業績予想 **40 億円**  
前期比 **+ 1 億円**



※金額は億円未満切り捨て表示、率は四捨五入表示

# 2025/5期 営業利益 増減要因 (前期比)



※国際事業に係る利益増減については、「国際事業」に集約  
 ※金額は億円未満切り捨て表示

## 成長分野への取り組み① 新湊東工場に新規のアルミ押出ラインを増設 EVを中心とする自動車分野への供給能力を増強

三協マテリアル社 新湊東工場を拡張するとともに、新たな押出ラインの増設を決定。中長期で成長が見込まれるEV市場に向けたアルミ型材の供給能力の増強を図る。

### ◆増築工事概要

工場名	三協立山株式会社 三協マテリアル社 新湊東工場
所在地	富山県射水市新堀28-1
投資予定額	約120億円
建築面積	増築分 12,862㎡（工場全体 26,566㎡）
構造・規模	鉄骨造 地上2階
着工予定	2024年7月
竣工予定	2025年10月31日
製造品目	アルミニウム押出型材
生産能力	約1,000t/月
押出機	1台（5,500Ust）
太陽光発電システム	増築部分の屋根上に約7,000㎡のパネルを設置、パネル出力約1MW



増築イメージ

長期ビジョン「VISION2030」の達成に向け、マテリアル事業の成長に注力してまいりました。今回の新たな押出ラインの増設により自動車のEV化・他のアルミ需要の拡大に対応してまいります。また、屋根上に設置する太陽光発電システムにより発電した電力を同工場内で使用することで、当社が目指すサステナビリティにも寄与してまいります。

## 成長分野への取り組み②

## 自動車分野向け加工ラインを新たに整備（新湊工場内）

成長分野である自動車分野への対応に向けた新たな設備投資として、新湊工場内に自動車分野向け専用加工ラインの整備を決定。マテリアル事業におけるEVを中心とする自動車分野への対応を加速させる。加工ラインは省人化・自動化を最大限に取り込み、高い付加価値の提供を目指す。

## ◆整備概要

工場名	三協立山株式会社 三協アルミ社 新湊工場内
所在地	富山県射水市新堀23-1
投資予定額	約15億円
整備面積	4,500㎡（工場全体 155,847㎡）
稼働予定	2025年5月より
導入設備	NC加工機、搬送用ロボットなど



新湊工場

## 「住宅省エネキャンペーン」継続中

## リフォーム関連商材 売れ行き好調

2022年末より3省（経済産業省、国土交通省、環境省）の連携で行っている住宅省エネリフォーム支援「住宅省エネキャンペーン」により、建材事業におけるリフォーム関連商材の売れ行きが好調。

### ■ 後付樹脂内窓 「プラメイクEII」、「プラメイク」

前期比（2023年6月～2024年5月累計）

売上高 約**170%**



### ■ リフォーム商品 「NOVARIS（ノバリス）」シリーズ

サッシ：前期比（2023年6月～2024年5月累計）

売上高 約**200%**



リフォーム関連商材のさらなる拡販に向けて、販売および生産体制の強化に努めてまいります。また、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、当社の断熱性能の高い製品の提供によりCO<sub>2</sub>排出量削減に貢献してまいります。

**'24 住宅省エネ** 継続中！ 詳細はこちら ↓  
**2024キャンペーン**

● 住宅省エネ2024キャンペーン 三協アルミ社ホームページより ➡ <https://alumi.st-grp.co.jp/hojokin/2024/>



● 三協アルミ社ホームページより「窓・ドアリフォームで暮らしのお悩み解決」 ➡ <https://alumi.st-grp.co.jp/reform/mado/>



## サステナブルで豊かな暮らしに貢献 温室効果ガス削減に向けた取り組み

### ■ CO<sub>2</sub>フリー電力導入工場 奈呉・高岡の2工場拡大

- ・対象：三協マテリアル社 奈呉工場、高岡工場
- ・運用時期：2024年6月1日～
- ・CO<sub>2</sub>排出削減量：年間約**9,500t-CO<sub>2</sub>**  
(当社グループの2017年度CO<sub>2</sub>排出量の約**2.5%**)



奈呉工場



高岡工場

### ■ 「ツインリーフの森づくり」(第22回) 活動を実施

- ・実施日：2024年4月21日
- ・場所：モン・ラック タカオカ (富山県高岡市)
- ・参加者数：49名 (うち子ども10名)
- ・活動内容：① 下草刈の際に目印とするための苗木へのテープ付け  
② 安全に活動するためにスズメバチが巣を作らないようハチ捕獲器を設置



活動の様子



当社は今後も、様々な企業活動を通じて、サステナブルで豊かな暮らしに貢献してまいります。

● ニュースリリース (CO<sub>2</sub>フリー電力導入) ➔ <https://www.st-grp.co.jp/news/2024news/st20240529.html>



● サステナビリティニュース (ツインリーフの森づくり) ➔ <https://www.st-grp.co.jp/sustainability/news/2024news/st20240426.html>



## 2024年5月期 第4四半期（2024年3月～2024年5月）商品リリース一覧

2024年3月

建材事業

リフォーム商品「ノバリス玄関ドア」  
高断熱仕様 発売

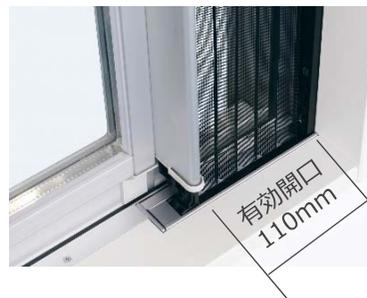


建材事業

サッシ一体型網戸  
「ビルトイン網戸」発売



網戸使用時



網戸収納時（窓全開時）



2024年4月

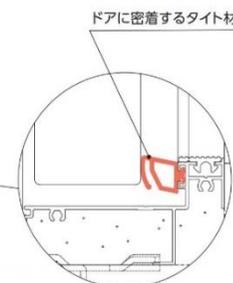
建材事業

玄関ドア  
「ファノーバ2」発売



業界初

浸水防止性能Ws-1等級相当を確保



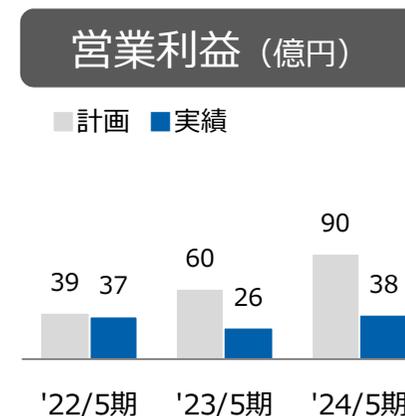
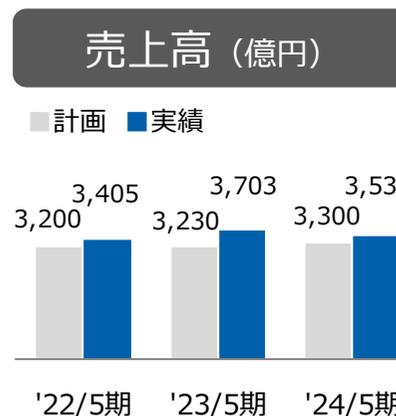
●ニュースリリース（建材事業／三協アルミ社） ➡ <https://alumi.st-grp.co.jp/news/2024news/news2024.html>



# 中期経営計画 2025/5期～2027/5期 【概要】

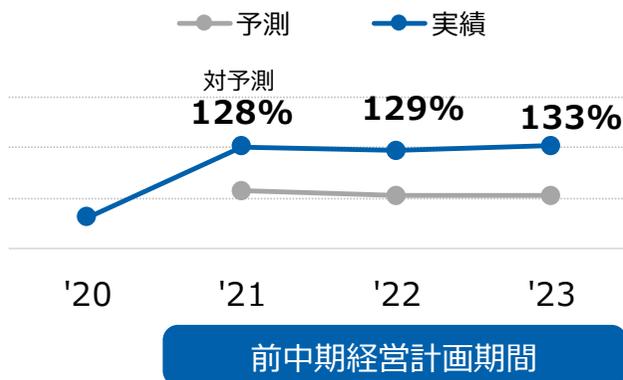
前中期経営計画では、「収益面の健全化」と「安定成長基盤の確立」を経営方針に掲げ取り組むも、コロナ禍や国際情勢の不安定さに伴う予想以上の外部環境変化により、利益面で課題を残す結果となった

経営指標	2024/5期目標	2024/5期実績
売上高	3,300億円	3,530億円
営業利益	90億円	38億円
ROA	1.9%	▲0.4%
ROE	5.9%	▲1.1%
自己資本比率	33%以上	33.2%



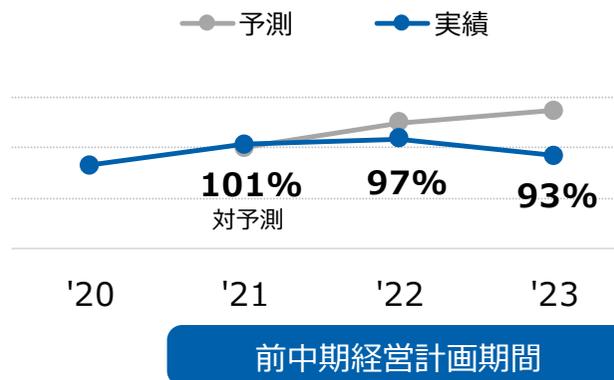
## アルミ地金 日経平均価格

3期とも予測の約3割高で推移



## エクステリア市場

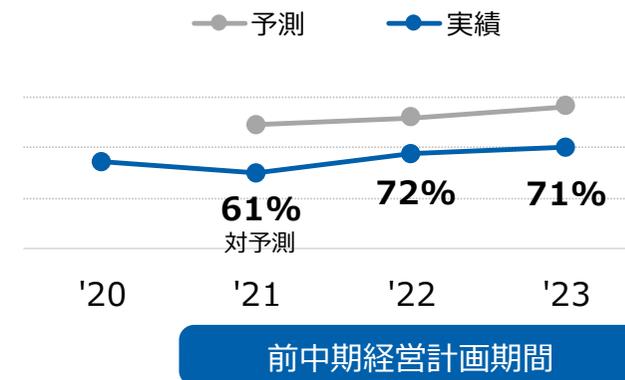
円安・物価上昇により消費者マインドが低下し予測を下回る



出典：日本エクステリア工業会

## ドイツ自動車生産台数

インフレによる景気後退で需要減速



出典：VDA MARKLINES

# サステナブルで豊かな暮らしに貢献

～環境に配慮した、安心して快適な社会の実現へ～

## VISION2030

### 環境にやさしく

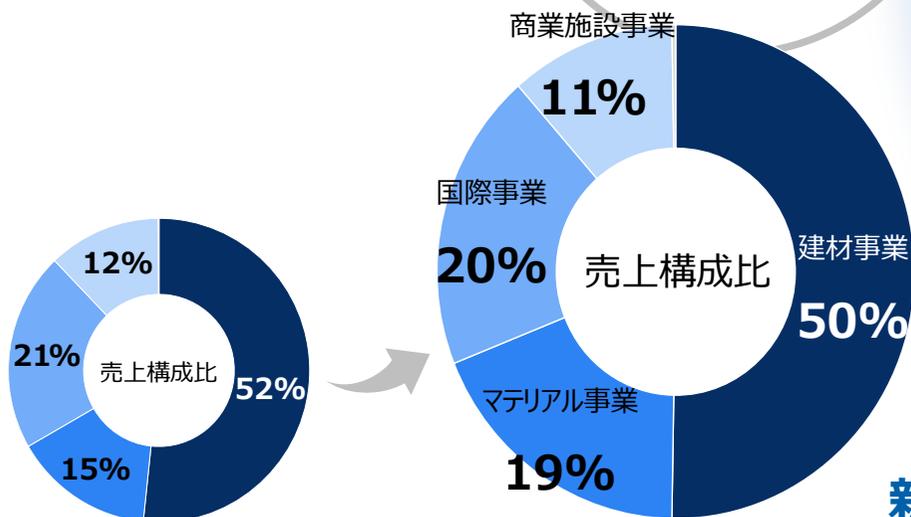
- CO<sub>2</sub>排出の削減
- アルミなどの資源循環

### 安心な社会へ

- 社会インフラの維持・更新・強靱化
- デジタル化への対応

### 暮らしを快適に

- さらなる使いやすさ・空間の心地よさの追求
- 多様な生活・働き方への対応



2024/5期  
実績

2027/5期  
目標

## 多角化した経営

～バランスの取れた事業ポートフォリオ～

持続的成長に向けた  
新たな事業ポートフォリオへ

成長領域の事業拡大  
安定収益基盤の強化

VISION2030の実現を目指し、収益基盤再構築と成長投資を優先する投資フェーズと位置づけ

2021年

2024年

2027年



中期経営計画 (2025/5期~2027/5期)

## 収益構造改革 と 成長への投資

2024/5期

売上高 3,530億円  
営業利益 38億円  
ROE ▲1.1%

2027/5期目標

売上高 3,800億円  
営業利益 110億円  
ROE 6%以上

2031/5期目標  
ROE 10%以上

還元の  
考え方

安定配当 15円→20円

1株あたり25円を下限とする  
安定的かつ継続的な配当

ROE8%以上の場合  
配当性向30%または  
DOE2%の高い方

PBR 1 倍以上を目指す

### 安定収益を確保し成長軌道に乗せる

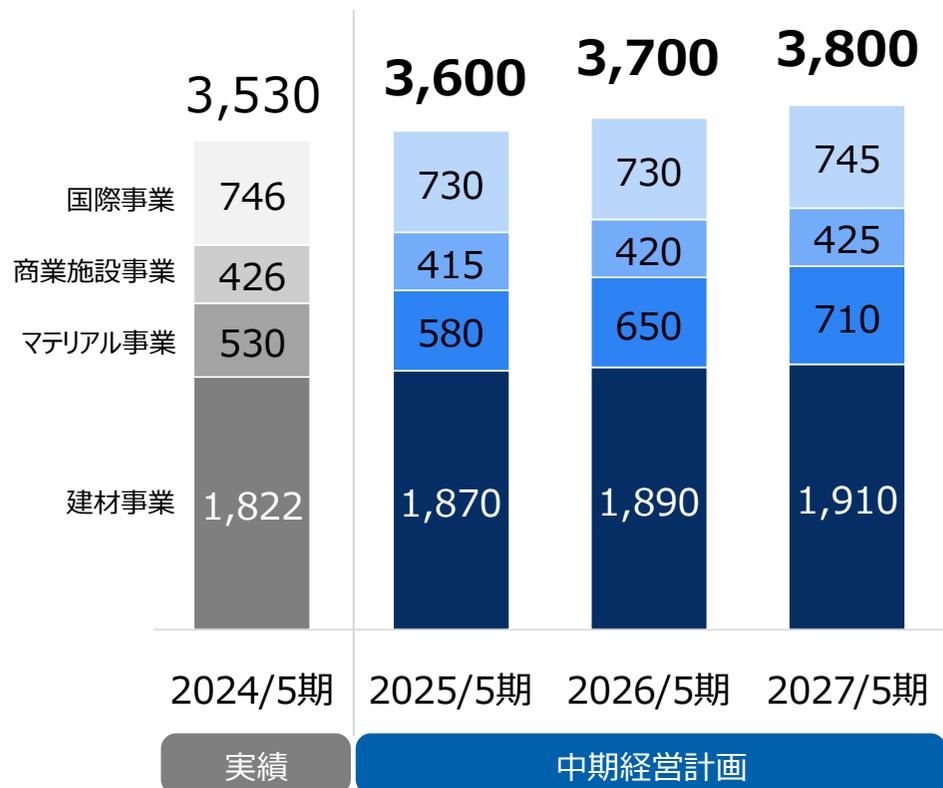
2027/5期  
数値目標

売上高  
**3,800**億円

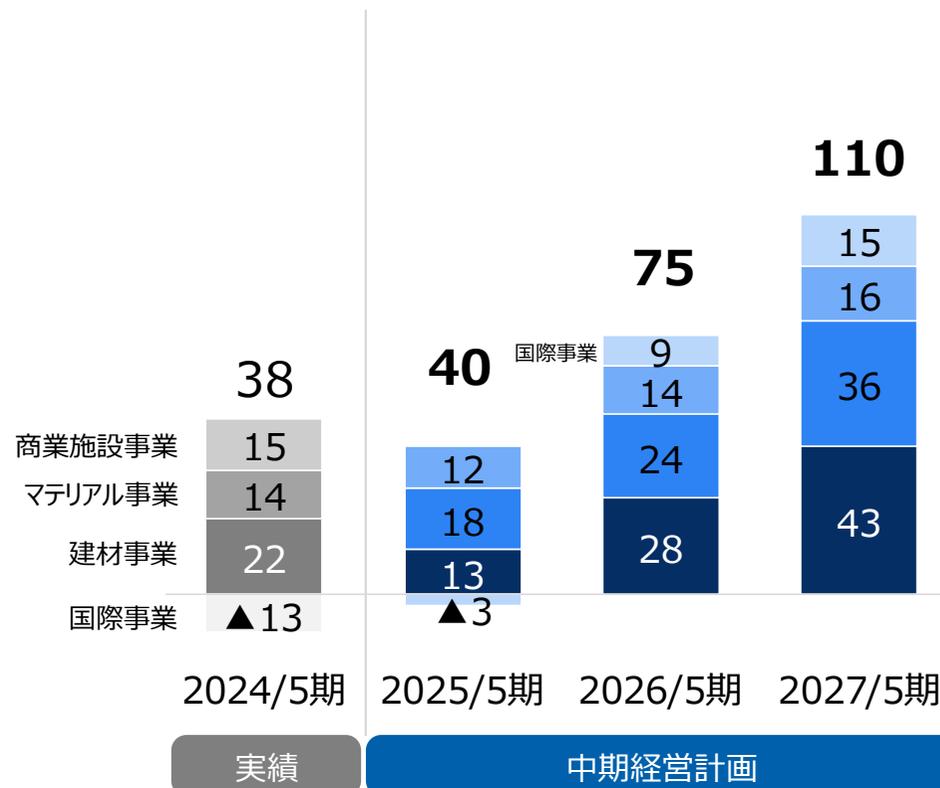
営業利益  
**110**億円

ROE  
**6%以上**

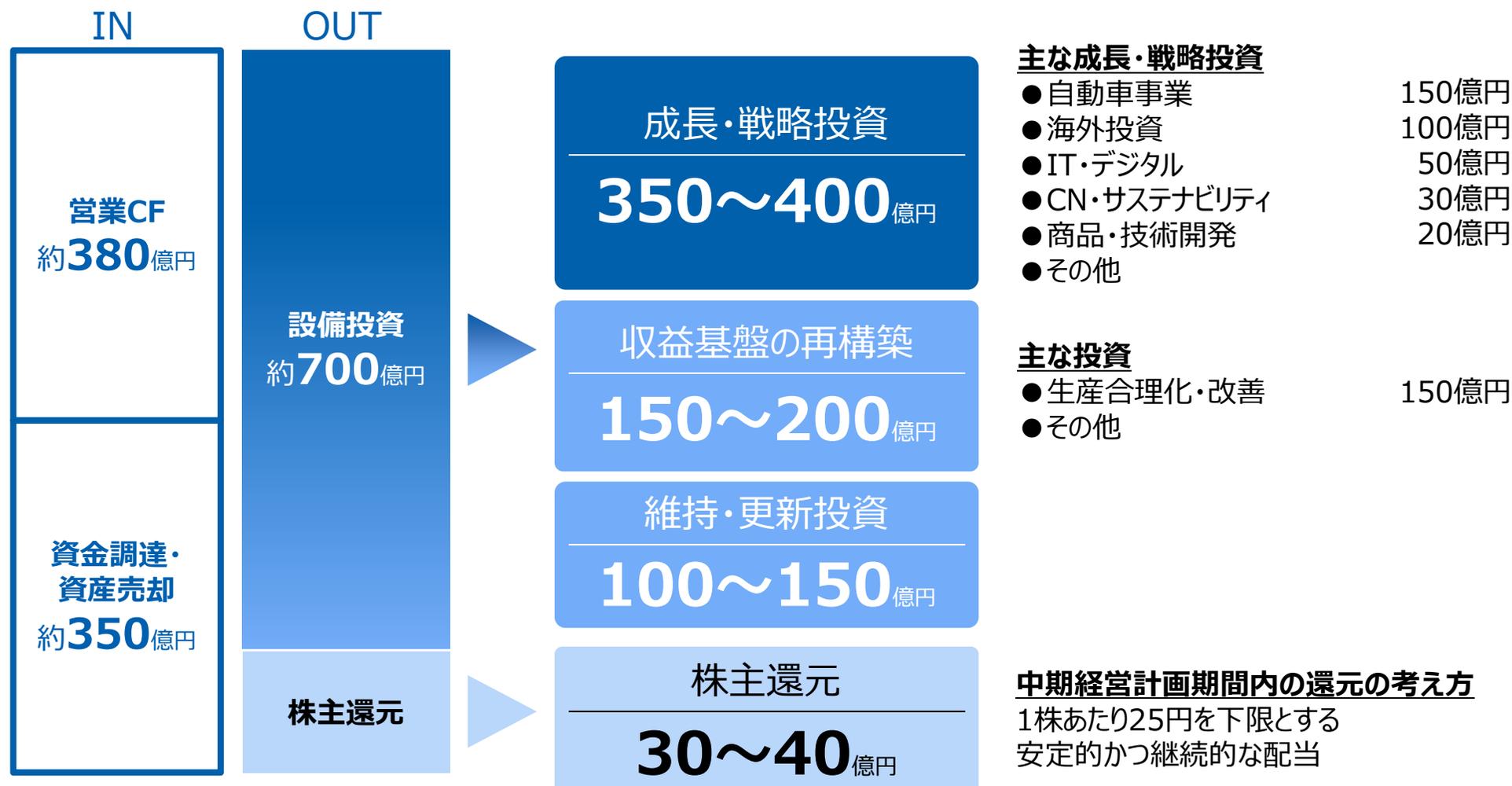
売上高 (億円)



営業利益 (億円)



営業CFおよび資金調達・資産売却を原資として、  
収益基盤の再構築と成長・戦略投資を優先した上で、安定的な株主還元を実現する



### 主な成長・戦略投資

- 自動車事業 150億円
- 海外投資 100億円
- IT・デジタル 50億円
- CN・サステナビリティ 30億円
- 商品・技術開発 20億円
- その他

### 主な投資

- 生産合理化・改善 150億円
- その他

### 中期経営計画期間内の還元の考え方

1株あたり25円を下限とする  
安定的かつ継続的な配当

**中期経営計画3カ年累計**  
2025/5期～2027/5期累計

# 参考資料

	対象期間	2021年	2022年	2023年
【建材事業（住宅）指標】 新設住宅着工戸数	4月-3月	86.6万戸 (6.7%増)	86.1万戸 (0.6%減)	<b>80.0万戸 (7.0%減)</b>
新設住宅着工戸数[持家]	4月-3月	28.1万戸 (6.9%増)	24.8万戸 (11.8%減)	<b>22.0万戸 (11.5%減)</b>
新設住宅着工戸数[貸家]	4月-3月	33.1万戸 (9.3%増)	34.7万戸 (5.0%増)	<b>34.0万戸 (2.0%減)</b>
【建材事業（ビル）指標】 非木造建築物着工床面積	4月-3月	69.7百万㎡ (8.0%増)	69.9百万㎡ (0.4%増)	<b>63.4百万㎡ (9.3%減)</b>
【マテリアル事業指標】 アルミ型材押出重量[サッシ・ドア除く]	6月-5月	32.4万 t (0.9%増)	31.1万 t (4.1%減)	<b>35.3万 t (13.5%増)</b>
【商業施設事業指標】 建築着工棟数[店舗]	4月-3月	5,492棟 (8.6%増)	5,734棟 (4.4%増)	<b>5,212棟 (9.1%減)</b>
【国際事業指標】 ドイツ自動車生産台数	4月-3月	298.4万台 (13.1%減)	375.7万台 (25.9%増)	<b>400.0万台 (6.5%増)</b>
タイ自動車生産台数	4月-3月	169.7万台 (17.9%増)	192.0万台 (13.1%増)	<b>174.8万台 (9.0%減)</b>
【アルミ地金価格平均値】 [日本経済新聞より]	6月-5月	402.0円/kg	394.6円/kg	<b>404.0円/kg</b>

日本アルミニウム協会公表値の集計区分に変更あり。前年と同条件では前期比で約4%増と推定。

( ) は前期比

※金額は億円未満切り捨て表示

## 売上高

	3ヵ月実績				実績累計			
	'23/5期	'24/5期	増減	増減	'23/5期	'24/5期	増減	増減
1Q	437	<b>449</b>	+11	+2.7%				
2Q	505	<b>481</b>	▲24	▲4.8%	943	<b>931</b>	▲12	▲1.3%
3Q	448	<b>445</b>	▲3	▲0.7%	1,392	<b>1,376</b>	▲15	▲1.1%
4Q	479	<b>445</b>	▲33	▲7.0%	1,871	<b>1,822</b>	▲48	▲2.6%

- 価格改定の浸透
- 「住宅省エネキャンペーン」によるリフォーム需要の獲得
- 建築市場の低迷

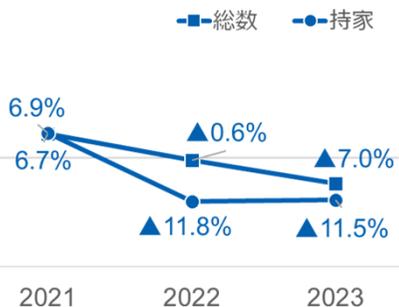
## セグメント利益

	3ヵ月実績				実績累計			
	'23/5期	'24/5期	増減	増減	'23/5期	'24/5期	増減	増減
1Q	▲7	▲3	+4	-				
2Q	1	<b>9</b>	+8	+476.0%	▲5	<b>6</b>	+12	-
3Q	▲1	<b>4</b>	+6	-	▲7	<b>11</b>	+18	-
4Q	6	<b>10</b>	+4	+71.7%	▲1	<b>22</b>	+23	-

- 価格改定を含めた収益改善施策の効果など

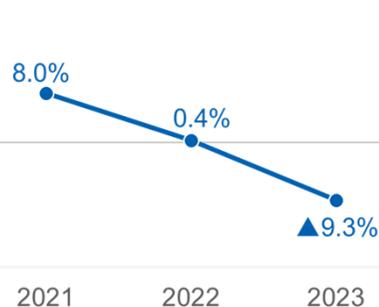
## 事業環境

新設住宅着工戸数  
(前期比)



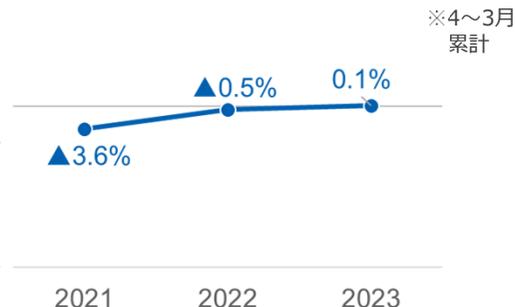
出典：国土交通省 建築着工統計調査報告

非木造建築物着工床面積  
(前期比)



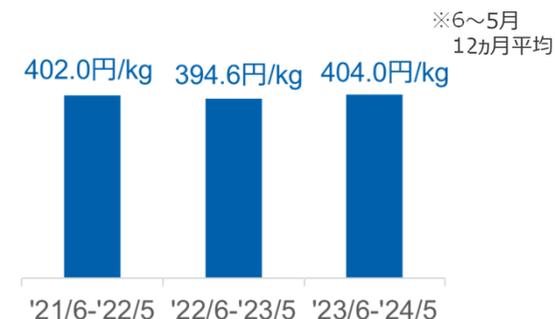
出典：国土交通省 建築着工統計調査報告

ビル用アルミサッシ販売重量  
(前年同期比)



出典：経済産業省 生産動態統計

アルミ地金価格[日経平均] (前期比)



出典：日本経済新聞

※金額は億円未満切り捨て表示

## 売上高

	3ヵ月実績				実績累計			
	'23/5期	'24/5期	増減	増減	'23/5期	'24/5期	増減	増減
1Q	143	<b>140</b>	▲3	▲2.1%				
2Q	150	<b>137</b>	▲13	▲9.1%	293	<b>277</b>	▲16	▲5.7%
3Q	148	<b>120</b>	▲27	▲18.5%	442	<b>398</b>	▲44	▲10.0%
4Q	143	<b>132</b>	▲10	▲7.3%	585	<b>530</b>	▲54	▲9.3%

- 自動車分野における国内生産の回復に伴う需要増加
- 建材分野や一般機械分野における需要減少の継続
- アルミ地金市況に連動した売上の減少

## セグメント利益

	3ヵ月実績				実績累計			
	'23/5期	'24/5期	増減	増減	'23/5期	'24/5期	増減	増減
1Q	8	<b>4</b>	▲3	▲44.4%				
2Q	10	<b>10</b>	▲0	▲4.7%	19	<b>15</b>	▲4	▲22.2%
3Q	3	<b>▲0</b>	▲3	-	22	<b>14</b>	▲7	▲34.8%
4Q	9	<b>▲0</b>	▲9	-	32	<b>14</b>	▲17	▲54.3%

## 事業環境

国内アルミ型材押出重量（前年同期比）

<一般機械>



<自動車>



出典：日本アルミニウム協会統計

※金額は億円未満切り捨て表示

## 売上高

	3ヵ月実績				実績累計			
	'23/5期	'24/5期	増減	増減	'23/5期	'24/5期	増減	増減
1Q	91	<b>97</b>	+6	+7.2%				
2Q	116	<b>124</b>	+7	+6.3%	208	<b>222</b>	+13	+6.7%
3Q	95	<b>90</b>	▲5	▲5.3%	303	<b>312</b>	+8	+2.9%
4Q	112	<b>114</b>	+1	+1.4%	416	<b>426</b>	+10	+2.5%

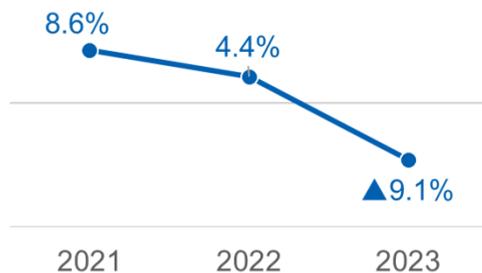
- 積極的な投資を行っている小売業態を中心に店舗の新規出店や改装需要を取り込んだこと
- 価格改定の浸透など

## セグメント利益

	3ヵ月実績				実績累計			
	'23/5期	'24/5期	増減	増減	'23/5期	'24/5期	増減	増減
1Q	0	<b>2</b>	+1	+326.4%				
2Q	2	<b>7</b>	+5	+206.5%	3	<b>10</b>	+7	+229.3%
3Q	0	<b>0</b>	+0	+211.2%	3	<b>11</b>	+7	+227.7%
4Q	2	<b>4</b>	+1	+59.2%	6	<b>15</b>	+9	+154.2%

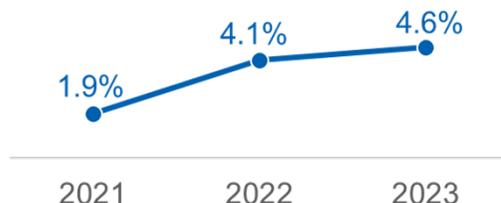
## 事業環境

建築着工棟数[店舗] (前年同期比)



出典：国土交通省 建築着工統計調査報告

小売業販売額 (前年同期比)



出典：経済産業省 商業動態統計調査

※4~3月累計

※金額は億円未満切り捨て表示

## 売上高

	3ヵ月実績				実績累計			
	'23/5期	'24/5期	増減	増減	'23/5期	'24/5期	増減	増減
1Q	202	<b>196</b>	▲6	▲3.0%				
2Q	221	<b>184</b>	▲36	▲16.5%	424	<b>381</b>	▲42	▲10.0%
3Q	194	<b>172</b>	▲21	▲11.2%	618	<b>554</b>	▲64	▲10.4%
4Q	209	<b>192</b>	▲17	▲8.5%	828	<b>746</b>	▲82	▲9.9%

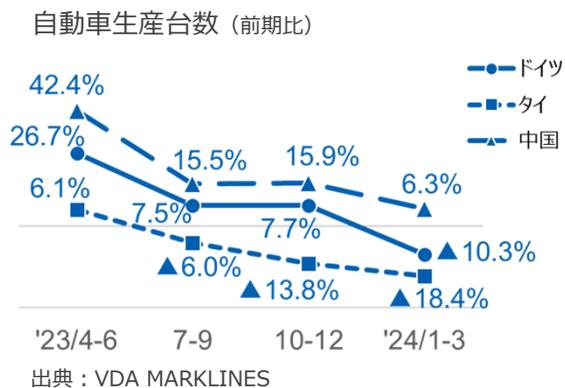
- 為替影響による増収効果
- アルミ地金市況に連動した売上の減少
- ドイツ経済の低迷
- 政府補助金打ち切りによるEV向けの販売量の減少

## セグメント利益

	3ヵ月実績				実績累計			
	'23/5期	'24/5期	増減	増減	'23/5期	'24/5期	増減	増減
1Q	▲10	<b>2</b>	+13	-				
2Q	3	<b>9</b>	▲12	-	▲6	<b>6</b>	+0	-
3Q	0	<b>3</b>	▲4	-	▲6	<b>10</b>	▲3	-
4Q	▲1	<b>2</b>	▲1	-	▲8	<b>13</b>	▲4	-

- 販売構成の改善
- 欧州でのエネルギー・諸資材価格の上昇に対する価格転嫁などを進めたこと
- 売上高の減少

## 事業環境



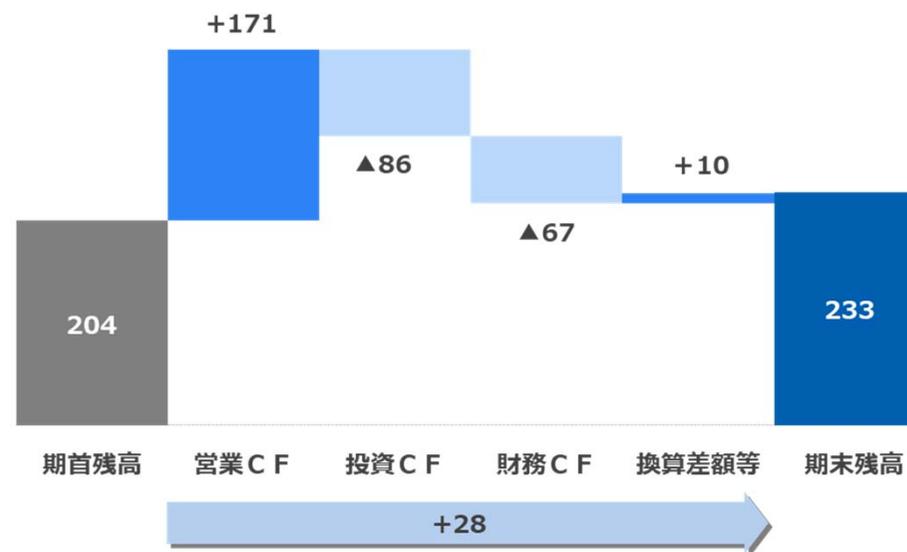
## 貸借対照表

2023/5期		2024/5期	
流動資産 1,512	流動負債 1,280	流動資産 1,456	流動負債 1,188
	固定負債 622		固定負債 716
固定資産 1,316	純資産 926	固定資産 1,442	純資産 994

	2023/5期 期末	2024/5期 期末	前期末比
総資産	2,829	2,899	70
自己資本	894	961	66
自己資本比率	31.6%	33.2%	1.6p
有利子負債	825	781	▲ 43
有利子負債比率	92.2%	81.3%	▲ 10.9p

※自己資本 : 純資産 - 非支配株主持分  
 自己資本比率 : 自己資本 / 純資産  
 有利子負債 : 短期借入金 + 長期借入金 + 社債  
 有利子負債比率 : 有利子負債額 / 自己資本

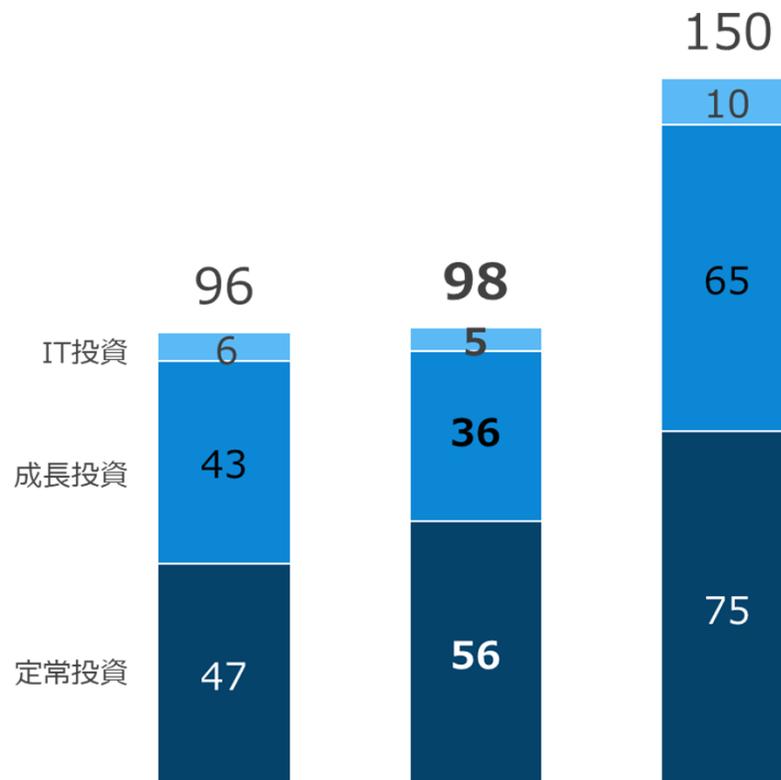
## キャッシュ・フロー



営業CF	171	投資CF	▲ 86	財務CF	▲ 67
税金等調整前 当期純利益	5	有形固定資産の 取得による支出	▲ 87	短期借入金純増減 (▲は減少)	▲ 105
減価償却費	87	その他	1	長期借入れによる 収入	236
売上債権の増減 (▲は増加)	83			長期借入金の 返済による支出	▲ 185
棚卸資産の増減 (▲は増加)	24			配当金の支払額	▲ 6
仕入債務の増減 (▲は減少)	▲ 78			その他	▲ 7
法人税等の支払額	▲ 11				
その他	64				

※金額は億円未満切り捨て表示、率は四捨五入表示

※金額は億円未満切り捨て表示  
 ※すべて資産計上ベース



【内訳】	2023/5月期 実績	2024/5月期 実績	2025/5月期 計画
定常投資	47	56	75
成長投資	43	36	65
IT投資	6	5	10
合計	96	98	150
(うち海外子会社)	(37)	(35)	(47)

減価償却費	82	87	84
-------	----	----	----

## 連結および持分法の適用範囲

(社)

	2023/5期 期末	2024/5期 期末	前期末比
連結子会社	46	<b>46</b>	-
持分法適用会社	6	<b>6</b>	-
合計	52	<b>52</b>	-

## 人員の状況（正社員）

(名)

	2023/5期 期末	2024/5期 期末	前期末比
三協立山	4,968	<b>4,822</b>	▲ 146
連結子会社	5,405	<b>5,467</b>	+ 62
合計	10,373	<b>10,289</b>	▲ 84

## 計画前提・実績

		期中 平均値	2023/5期 実績	2024/5期 前提 (通期)	2024/5期 実績	2025/5期 計画前提
アルミ地金価格 (日本経済新聞)		6~5月	394.6円/kg	375.0円/kg	<b>404.0円/kg</b>	435.0円/kg
為替	ドル	4~3月	135.5円	135.0円	<b>144.6円</b>	150.0円
	ユーロ	4~3月	141.0円	140.0円	<b>156.7円</b>	160.0円
	バーツ	4~3月	3.8円	3.8円	<b>4.1円</b>	4.0円
	元	4~3月	19.7円	19.5円	<b>20.1円</b>	21.0円

# サステナビリティビジョン2050 Life with Green Technology

～「環境技術でひらく、持続可能で豊かな暮らし」を実現する企業グループへ～

## カーボンニュートラルへの挑戦

事業活動に伴う温室効果ガス排出削減と、環境技術で創出する商品・サービスによる温室効果ガス排出削減貢献とのバランスにより、カーボンニュートラルを目指します。

## 資源の循環

循環型社会の実現に向けて、主要原材料の循環使用の促進と、廃棄物の再資源化を推進します。

## 人財を未来へつなぐ

多様性や人権を尊重し人材育成を推進することで活力ある企業風土を創出し、豊かな暮らしを実現する原動力となる「人財」を未来につないでいきます。

## 2030年度目標

### 温室効果ガス排出量

Scope1+2 **50%減** (2017年度比)

Scope3 **25%減** (2022年度比)

対象：三協立山グループ

建材向け  
アルミリサイクル率 **80%**

課題の対応により100%を目指す

### 女性管理職比率

**10%**

Scope1：自社での燃料の使用に伴う直接排出  
Scope2：自社が購入した熱・電力の使用に伴う間接排出  
Scope3：自社の事業活動の上流及び下流のプロセスでの排出

\*1：個別製品ごとの指標を表すものではありません  
\*2：対象とする拠点は、国内製造拠点  
\*3：社内の製造工程で生じた端材を含みます

### E 環境



### S 社会



### G ガバナンス



## ■ 本資料に関する注意事項

本資料に記載されている内容には、三協立山株式会社および連結子会社（以下、総称して「三協立山グループ」という）の計画、戦略、業績などの将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、現時点で入手可能な情報から得られた三協立山グループの仮定や判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性およびその他の要因が内在しています。それらの影響により、三協立山グループの実際の業績、事業活動、財務状況は、これらの見通しと大きく異なる場合があります。また、新たな情報、将来の事象、その他にかかわらず、三協立山グループが将来の見通しに関する記述を見直すとは限りません。なお、業績など実際の結果に影響を与えるリスク、不確実性およびその他の要因としては、三協立山グループの事業領域を取り巻く経済情勢、三協立山グループの製品やサービスの需要動向の変化や価格競争の激化、為替相場、アルミ地金などの価格変動が挙げられますが、これらに限られるものではありません。

本資料の複製・転載はお断りします。